

行事外山行 十郎山(1269m)登山

◇実施日 11月5日(土) 晴

◇参加者 湯川一郎、梶野照雄 2名

沖崎さんから「湯川君が十郎山に登る企画をしている。素晴らしい所なので是非一度行ってみたい欲しい。俺も行くつもりをしている。」と連絡があった。土曜日なら行ける、と返事をして待ち合わせ場所の白川へ向かった。

R169の白川大橋で湯川君と合流、沖崎さんは腰の具合が悪く欠席で、2人での登山となった。白川又谷沿いの林道を走ってゲート前に駐車し歩き出す。林道は幅員も広く落石も無かった。1.8km 30分ほど歩くとモノレールのレールが現れた。



林道ゲートを出発

モノレール出現

必死に登る

すぐ上に車庫の屋根があり、中に搬器が2台停まっていた。

ルートはモノレール沿いを登って十郎山の東側鞍部に至り、なかなか登りを経て山頂に達する。

車庫を過ぎると急登が続く。レール沿いの低木は切られているが、切り株の高さが10数センチあり、時々足を取られる。レールを掴んで体を引き上げながらゆっくり登るが、呼吸が乱れ汗が噴き出す。3回ほど平坦な場所を見つけて休憩した。登っても登っても終点が見えず、天まで続いているのかと思うほどだ。



やっと終点に着く

山頂付近の紅葉

十郎山山頂

一時間半ほど急登を続けて、ようやく平坦な場所に着いた。もうそろそろレールも終了かと思ったらそうではなく、小さなピークを一つ越えただけだった。再び登りに転じて、もう一つのピークを越えてようやくレールの終点にたどり着いた。2時間半を費やした。帰ってからGPSのデータを見ると、モノレールの延長距離は約2100mあることが判った。

モノレールの終点から十郎山山頂まではまったくの自然林で、特に

南側斜面の木々が全て紅葉している。黄色や茶色が主体だが、中には真っ赤に紅葉した木もあり、見事というほかない。山頂で食事をして下山にかかる。気温は15℃以上あるだろうか、小さな虫がまとわりついて払い除けるのに忙しかった。山頂からモノレールの終点までの間の藪になった個所を少しだけ切り広げ順調に下降した。



本日の参加者 孔雀岳は木々でよく見えない 下山中唯一の展望

モノレールの終点からは傾斜が急になるにつれ、レールを掴んで後ろ向きに降りるようになった。登るときにも足が滑る所があったので、なお慎重に歩を進めた。狭い所や段差の大きい個所はレールを跨いで反対側を歩いた。標高が下がるにつれ、気温も上昇。また汗をかいた。車庫の屋根が見えてやっと下山した。山頂からは2時間10分だった。林道を30分弱歩いてゲートに戻り帰宅した。



下りは続く



林道に降り立つ



今日のルート

今回のルートは距離こそ短いですが、モノレール沿いが直登の急斜面で皆にはお勧めできない。秋から春までのルートで、真夏には行きたくないルートだ。

湯川君は履き替えた登山靴を車の横に置いたまま帰宅し、翌日靴を取りにゲートまで行ったらしい。なんでも確認が重要だ。

(記：梶野)

行動タイム

08:22 林道ゲート↓08:49 モノレール始点↓11:23 モノレール終点↓12:05 十郎山山頂 12:35→14:42 モノレール始点↓15:11 林道ゲート